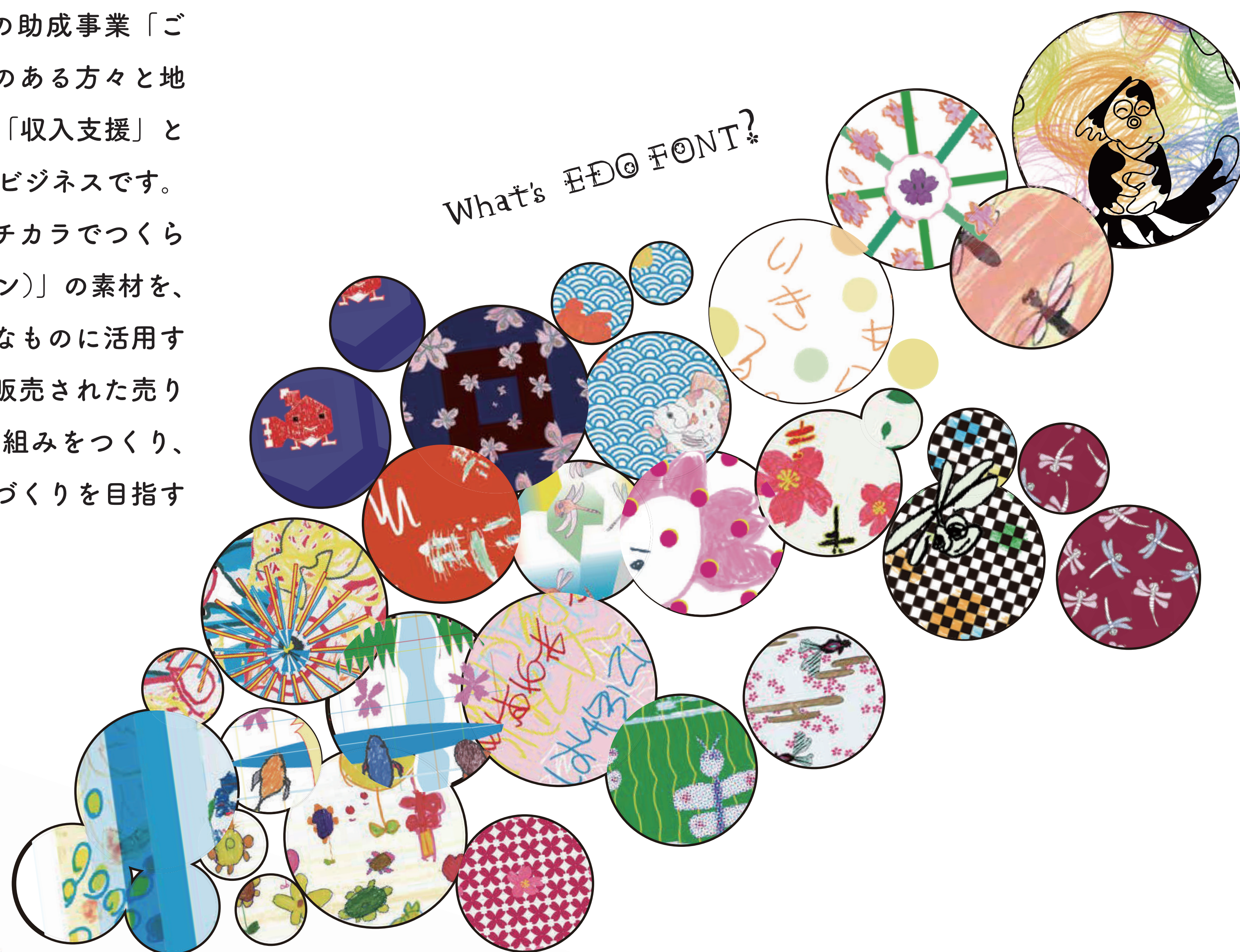


ハエドフォントとは？

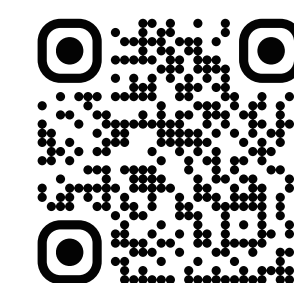
「エドフォント」とは、シブヤフォントの助成事業「ご当地フォント」事業から生まれた、障害のある方々と地元に住む方々の両方のチカラを活用した「収入支援」と「共生社会」の実現を目指したソーシャルビジネスです。エドフォントは、障害のある方の表現のチカラでつくられた「文字（フォント）」や「絵（パターン）」の素材を、デザインのチカラで再構成し、さまざまなものに活用することができます。また、商品等として販売された売り上げの一部は障害のある方へ還元する仕組みをつくり、多様な方が暮らしやすい地域、共生社会づくりを目指す取り組みを行っています。



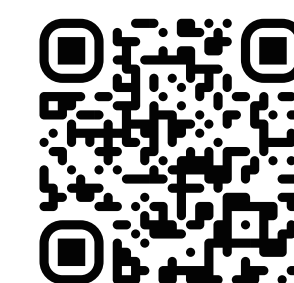
ハ
エドフォント

22 types of EDO FONT

Edofont is a grassroots network unique to Edogawa Ward.



Home



販売サイト

「ご当地フォント」のひとつとして「エドフォント」が生まれました

「ご当地フォント」は、日本中・世界中の障害のある方・デザイナー・障害者支援事業所による共創アートワーク（フォント・パターン）を世界中に届けるソーシャルプロジェクトです。もともとは渋谷区発の、渋谷でくらし・はたらく障害のある方の書いた文字や数字を、渋谷でまなぶ学生がフォントとしてデザインしたパブリックデータ「シブヤフォント」から派生したものです。

江戸川区独自の草の根ネットワーク「エドてらす」

「エドてらす」は江戸川区近郊で活動するアート活動ネットワークです。障害のある方たちのアート・表現を支援し、表現活動に携わる障害者の原動力を社会参加へとつなげることを目指して、2019年より活動しています。

エドフォントはこのエドてらすを中心としたネットワークが、江戸川区内に暮らされている障害のある方、個人や団体に働きかけ集まった作品をもとにつくられました。集まった650点を超える作品は江戸川区の地域の力を表していると言えます。